

<英語語法マスター②> 副詞の語法②

① 後ろの語順に注意すべき副詞

☆ ()・()・()・()の後ろは()

(例) ○ It is too good a story to be true. 「それは本当にしては話があますぎる」
 X It is a too good story to be true.

㊦ "so + 形容詞"の次の名詞が**複数**のときは()を用いる!

○ I have never seen such good men. 「私はこんな良い人たちを見たことがない」
 X I have never seen so good men.

so・as・how・tooの後ろに続く語

so	} 形 + a/an + 名	() / ()
as		()
how		()!
too		()

② 準否定の副詞

① () [] + V: 「 ← () を表す!

(例) It was so dark that we could hardly see.
 「暗かったので、ほとんど見えなかった」

② () [] + V: 「 ← () を表す!
 =()

(例) I rarely go to the movies. 「私はめったに映画に行かない」

※ 4つの準否定語は (/) などと同時に使えない!

強さの順番

few + 複数名詞 ㊦ < () < no + 名 [not ~ any 名]
 little + 単数名詞 ㊧ [not a 名]
 「ほとんど～ない」 「全く～ない」

||
 () ← almostは否定の意味はない!

③ almostの用法

almostの後に続く頻出語

① (): 「 」

(例) Almost all (of) the students like English. 「学生のほとんどは」
 = () like English. ← やや少ない人数 英語が好きな人
 = () like English.

② (): 「 」

(例) Almost everybody was invited. 「ほとんど全員が招待された」

③ (): 「 」

(例) There is almost no difference. 「ほとんど違いはない」
 = There is () () difference.

④ (): 「 」

(例) I almost always play baseball after school.
 「僕は放課後にほとんどいつも野球をする」

⑤ () = (): 「 」

← almostの方が強い

(例) I almost missed my train. 「危うく列車に乗り遅れるところだった」

⑥ (): 「 」

(例) Tom can speak French almost as well as me.
 「トムは私とほぼ同じくらいフランス語を話せる」

※ almostは副詞なので、()は×!!

④ 名詞とまぎらわしい副詞

go 「行く」
 come 「来る」
 get 「到着する」など

+

① () 「外国に」 / ② () 「町に」
 ③ () 「下の階に」 / ④ () 「家に」
 ⑤ () 「海外へ」 / ⑥ () 「上の階へ」

→ これらは副詞なので前置詞のtoなどは不要!

⑤ 1. go to his homeのように、単独ではなく () や () が付くと
 homeは名詞となり、toが必要となる!

on the way home

2. 場所・時の副詞は名詞の後ろに置かれることがある。